

ワイコム通信 Vol.9

あけましておめでとうございます。

早いもので能登半島地震より1年が経過致しました。

被害に遭われた方々におかれましてはこの場を借りて心よりお見舞い申し上げます。

また、今年は阪神・淡路大震災の発生から30年の節目を迎えることもあり

改めて日頃の備えについて見直してみてはいかがでしょうか。

そこで、今回のワイコム通信では防災用品をご紹介します。

防災用品と一口に言っても様々なものがございますが、その中でも今回は

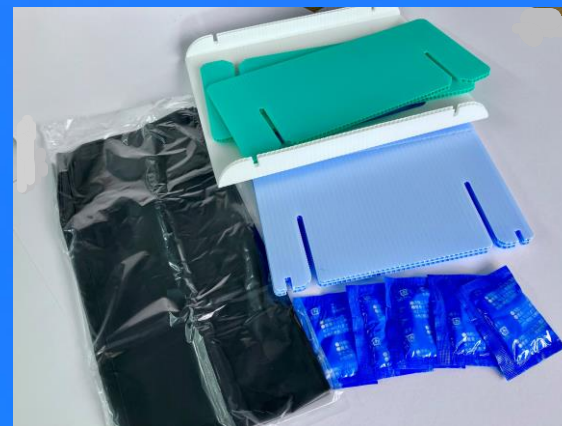
保管のし易さ、使い勝手の良さの観点から高評価なものを3点厳選致しました。

1. 組み立て式便器, 簡易トイレセット

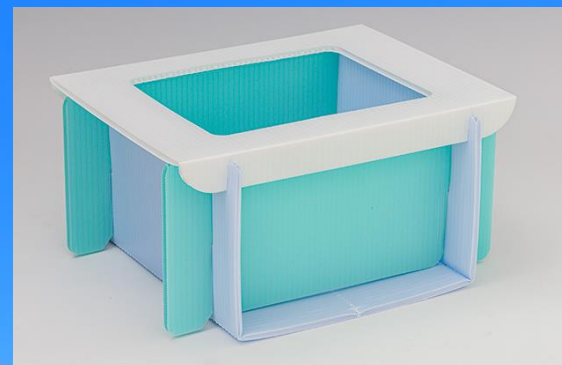
袋、抗菌性凝固剤の非常トイレおよび組立式の簡易便器がひとつになった携帯トイレセットです。

避難下においては水を使わずいかに衛生的に汚物の処理を行い、清潔な環境を保つかが課題です。
当セットの簡易便器は繰り返し使えるほか、取り付けた非常トイレを都度交換することで衛生的にご利用いただけます。

これらすべてが大きさ270mm x 300mm x 45mm、重さ約300gと軽量・コンパクトに収まっているため災害対策用途だけではなく、キャンプ等レジャーでの用途にも便利です。



↑セット内容。5回分の非常トイレが付属
いずれも国内で生産・加工された日本製。



↑組み立てられた便器。(耐荷重200kg)
プラスチック段ボール製で洗浄が可能。

2. 水のう袋

砂の代わりに水を入れる水のうです。
現在水害への応急対策として広く利用されているのが土のうですが、市街地においては中に充填する砂の調達が課題と言えるでしょう。
こちらの水のうであれば、土や砂の調達が難しい地域でも水を入れてすぐにお使いいただけます。

また、1回のみ貯水袋としての利用も可能です。
水のう用途であれば繰り返しご使用いただけます。



←水を入れることで自立可能。
袋上部には穴が開いているため、
付属の結束バンドで連結可。



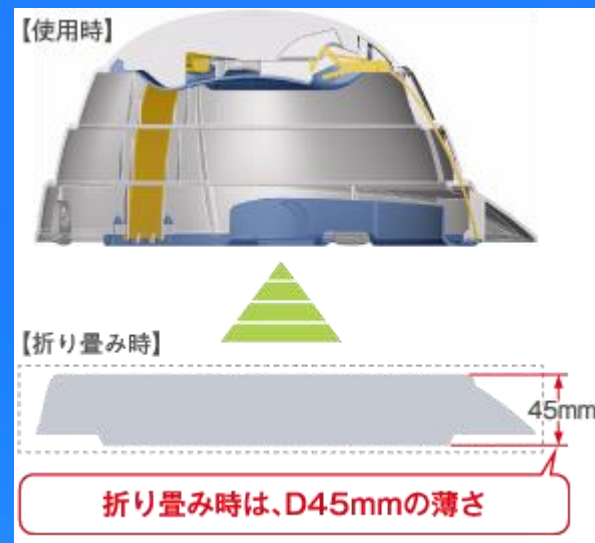
↑使用例。
付属のシートとの組み合わせで
より効果的に土砂の流入を防ぐ。

3. 折り畳み式防災用ヘルメット

折り畳むことで厚さ45mmになるヘルメットです。省スペース保管が可能ですので、机の引き出しやキャビネットへ書籍のようにすぐに取り出せる場所に収納できるのが特徴です。

「頭に被る→引っ張って伸ばす」ことで素早く使用できるため、大人だけではなくお子様にも簡単にお使いいただけます。(ジュニアサイズ展開有)

また、本商品は厚生労働省による労働安全衛生法規格検定試験の合格品であると同時に学校ほか公共施設への納入実績もございます。



(画像左)折り畳んだ状態とのサイズ比較。
(画像右)収納の例。

おわりに

防災用品の性格として使用する場面に遭遇しないに越したことはありませんが、いざ有事となった場合に使い勝手がよく機能を最大限発揮できるもの・使わない場合でも収納性に優れ邪魔にならないものが理想です。

目一杯揃えたものの、逆に避難する上での妨げとなるようでは本末転倒になりかねませんし、平時における費用面、保管スペース管理の面でもかなりの負担となってしまいます。よって、防災用品の備蓄にはこれらに優先順位をつけて備えておくことが推奨されます。

弊社では民間、公共機関を問わずにこのような観点から最適な商品をご紹介できればと考えていますので、ご興味がありましたら何なりとご相談いただければ幸いです。